

ESMPRO/ServerManagerで VMware ESXi 5以降のRAIDシステムを管理する際の注意事項

この度は弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本製品のご使用において、ご注意くださいことがあります。
誠に恐れ入りますが、ご使用前に下記内容を必ずご一読のうえ、ご注意くださいますようお願い致します。
なお、本書は必要ときにすぐに参照できるよう大切に保管してください。

LSI SMI-SプロバイダをVMware ESXiに組み込んでESMPRO/ServerManagerからRAIDシステムを管理すると、以下のような現象が発生します。

※本ドキュメントにて記載している「VMware ESXi」とは、ESXi 5以降の仮想化OS(ハイパーバイザー)のことを指します。

■ 各種サポート情報について

ご使用上のよくあるご質問など、各種サポート情報に関しては

「[ESMPRO/ServerManager RAIDシステム管理機能 \(VMware ESXi 5以降\) サポート情報リスト](#)」

をご確認ください。

■ 論理ドライブのディスクアレイにおける位置情報について

論理ドライブのプロパティ[ディスクアレイ情報]のうち、ディスクアレイ内の位置情報を示す(n/m番目)部分を表示しません。このため、1つのディスクアレイ内に複数の論理ドライブが存在するとき、該当論理ドライブがディスクアレイ内で何番目の論理ドライブかを知ることができません。

VMware ESXi5のRAIDシステムを管理する場合

プロパティの参照/変更

項目	値
全般	
番号	1
ID	0
ディスクアレイ情報	1
RAIDレベル	RAID 0
容量	33GB
ストライプサイズ	64KB
キャッシュモード(現在値)	Write Through
種別	論理ドライブ
ステータス	🟢 オンライン
オプション	
キャッシュモード(設定値)	Write Through

Windows/Linux/VMware ESX4のRAIDシステムを管理する場合

プロパティの参照/変更

項目	値
全般	
番号	1
ID	0
ディスクアレイ情報	1 (1/1番目)
RAIDレベル	RAID 0
容量	74GB
ストライプサイズ	64KB
キャッシュモード(現在値)	Write Through
種別	論理ドライブ
ステータス	🟢 オンライン
オプション	
キャッシュモード(設定値)	自動切替

■ キャッシュモード(現在値)の表示について

RAIDコントローラーによっては、論理ドライブのプロパティ[キャッシュモード(現在値)]を表示しません。論理ドライブのキャッシュモードを変更した場合も、RAIDログに変更後の値を表示しません。キャッシュモードを確認するには、論理ドライブのプロパティ[キャッシュモード(設定値)]を参照してください。

VMware ESXi5のRAIDシステムを管理する場合

論理ドライブのプロパティ

プロパティの参照/変更

項目	値
全般	
番号	2
ID	1
ディスクアレイ情報	2
RAIDレベル	RAID 6
容量	40GB
ストライプサイズ	64KB
種別	論理ドライブ
ステータス	オンライン
オプション	
キャッシュモード(設定値)	Write Back

RAIDコントローラによっては表示しない

表示しない場合はここで確認する

RAIDログ

種類	日時	ID	説明
情報	2012/08/18 11:56:29 (+09:00)	417	<RU0417> [CTRL-1(ID=1) LD-1(ID=0)] 論理ドライブのキャッシュモードが変更されました。

Windows/Linux/VMware ESX4のRAIDシステムを管理する場合

論理ドライブのプロパティ

プロパティの参照/変更

項目	値
全般	
番号	1
ID	0
ディスクアレイ情報	1 (1/1番目)
RAIDレベル	RAID 0
容量	74GB
ストライプサイズ	64KB
キャッシュモード(現在値)	Write Back
種別	論理ドライブ
ステータス	オンライン
オプション	
キャッシュモード(設定値)	Write Back

RAIDログ

種類	日時	ID	説明
情報	2012/08/18 11:56:29 (+09:00)	417	<RU0417> [CTRL-1(ID=1) LD-1(ID=0)] 論理ドライブのキャッシュモードが変更されました。 新値: Write Back

■ 専用ホットスペア作成時に指定するディスクアレイの個数について

VMware ESXi 5以降に対応したESMPRO/ServerManagerは、専用ホットスペアの作成をサポートしています。専用ホットスペアを作成するときは対象としてディスクアレイを指定しますが、ESMPRO/ServerManagerで指定できるディスクアレイは1個です。複数のディスクアレイに対するホットスペアを作成する場合は、オフラインユーティリティから専用ホットスペアを複数個作成するか、もしくは共用ホットスペアを作成してください。

※ RAID10、50など複数のディスクアレイで形成されるRAIDレベルの場合

RAID10や50など複数のディスクアレイで形成されるRAIDレベルについても、専用ホットスペアで指定できるディスクアレイは1個です。

専用ホットスペアの作成		
番号	必要容量	論理ドライブ
専用ホットスペアを作成するディスクアレイを選択します。(1個まで)		
<input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	ディスクアレイ #2 67GB	いずれか1つを選択可能
<input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	ディスクアレイ #3 67GB	
選択した物理デバイスの容量: 67GB		
選択したディスクアレイに対して、ホットスペアを作成します。 作成 キャンセル		

専用ホットスペアに指定していないディスクアレイ配下には専用ホットスペアのノードが表示されません。指定していないディスクアレイ配下の物理デバイスが故障した時などはホットスペアリビルドも実行されませんのでご注意ください。



■ HDD電源状態遷移のイベント通知について

VMware ESXi 5以降からのHDD電源状態遷移(省電力/遷移中/電源オンに遷移)のイベント通知が遅れる場合があります。これらのイベント通知が遅れると、ESMPRO/ServerManagerのWeb GUIやRAIDログへのHDD電源状態の反映も遅れます。

最新のHDD電源状態を取得するには、RAIDシステム情報を再スキャンします。

■ 高負荷時の通信状態について

VMware ESXiの稼働中に物理デバイスの引き抜きを90秒以内の間隔で連続で行うなど、イベントが短い期間に集中して発生すると、VMware ESXiからESMPRO/ServerManagerへ情報を送信できなくなり、RAIDシステムの状態が不明になる場合があります。

本現象が発生したときは、通信の回復まで10分程度お待ちいただくか、VMware ESXiのマネージメントエージェントを再起動する必要があります。マネージメントエージェントの再起動方法は以下の通りです。

[マネージメントエージェントの再起動方法]

1. VMware ESXiのローカルコンソールでF2を押下し、管理画面にログインします。
2. Troubleshooting Optionsを選択し、Enterを押下します。
3. Restart Management Agentsを選択し、Enterを押下します。
4. 確認画面でF11を押下し、Management Agentsを再起動します。

■ 本件に関するお問い合わせについて

本書の内容に不明点がありました場合は、下記ファーストコンタクトセンターまでお問い合わせください。

連絡先	: ファーストコンタクトセンター
TEL	: 03-3455-5800
受付時間	: 9:00～12:00 13:00～17:00
	月曜日～金曜日(祝日を除く)

※ 番号をお間違えにならないよう、よくお確かめのうえ、おかけください。